

広報かしわが  
リニューアル!

9月1日は防災の日

普段の買い物が  
非常食に

水や乾パン  
だけじゃない

もし明日、大震災が起きたら——  
**自宅での備えがあなたを守る**



柏の木が、つぎの若い芽にバトンを渡していくように。

みんなで、柏をつないでいこう。

これまでも、しなやかに変わってきたように。

つづくために、私たちにできることがある。

ひとりひとりの、あしたをよくする知恵と工夫で。

柏市は、つづくをつなぐ、まちになります。

#03「つづくを、つなぐ。」かしわスナップ

柏市に伝わる話を、後世に伝えつづけると話す「かしわ民話保存会」会長中島貴洋さん(写真右から2番目)の思いとは。インタビュー記事はこちらから。





## CONTENTS ～目次～

### 4 特集

もし明日、大震災が起きたら――

## 自宅での備えがあなたを守る

### 11 ピックアップ Pick Up ～市の新しい情報などをお知らせします～

9月定例会 条例の制定などを審議／新型コロナワクチンの秋開始接種が開始／年金生活者支援給付金を支給／柏市中小企業電気・ガス料金高騰支援金の受け付けを開始／青少年センターの閉館に伴う避難所等の閉鎖・施設の移転／新入生の就学準備

### 13 インフォメーション Information ～情報コーナー～

建物などが災害に遭ったら手続きを／マイナポイントの申し込みは9月30日(土)まで／住宅・土地統計調査にご協力を／9月24日～30日は結核予防週間／  
【連載】カシワ★ナンバーLABO / サークル会員募集 / 団体・サークルの催し / 市民の相談室 ほか

### 30 【連載】 潜入!! 工事現場 トチュー 途chuアフター

第5回 災害用マンホールトイレ

### 31 カシワフォトダイアリー Kashiwa Photo Diary ～まちの出来事を写真とともに～

来場者81万人! 4年ぶりに柏まつりを開催／手賀沼花火大会 1万3,500発の花火が柏の夜空を彩る

### 32 【連載】 かしわ愛を込めて ふるさと産品お届け便

第5回 文菜華の自家製ラー油

## 市長の スマイル通信

vol.20

ペットと一緒に避難できる  
体制を整えています

災害時、ペットと一緒にでもためらわずに避難できるように、現在、避難所の屋内にペットの避難スペースを設置する準備を進めています。

最近では、自宅が安全な場合に、災害時も自宅で過ごす「在宅避難」の考え方が広まってきました。ペットを飼っているかたにとっても、その方が負担は少ないと思いますが、自宅の被害が大きく生活できない場合など、必要なときには、迷いなく避難できるように備えておくことも重要な防災対策です。

東日本大震災のときには、まだ災害時のペット避難についてはあまり考えられておらず、飼い主とはぐれたペットが命を落としたり、ペットのために自宅へ戻った飼い主が余震だけがをしたりといったことが起こりました。ペットは大事な家族の一員というかたも多いと思います。災害時にペットの命を守るためにも、飼い主として事前の備えが必要です。避難所は、不特定多数のかたが不安や緊張を感じながら集まります。その中でも、人もペットも落ち着いて過ごせるよう、事前の備えをお願いします。

柏市長

太田和美



※ペットの避難についてはP8をご覧ください



はがき・ファクスなどの記入内容

①希望する講座・催し名 ②郵便番号・住所 ③氏名(ふりがな) ④年齢 ⑤電話番号※電話が困難な場合はファクス番号⑥(往復はがきの場合) 返信面の宛先

掲載情報の  
見方

時=とき 所=場所 対=対象 定=定員 内=内容 講=講師 費=費用 持=持ち物 申=申し込み 交=交通 他=その他  
問=問い合わせ ●費用で特に記載のないものは無料 ●対象や定員に制限のないものは、どなたでも参加可

もし明日、大震災が起きたら

# 自宅での備えがあなたを守る

死者10万人を超える関東大震災から100年。その間にも阪神・淡路大震災、東日本大震災などが発生し、建物の倒壊や津波など各地に多くの被害を及ぼしました。予測できない大地震への備えとして、私たちは今、何をすべきでしょうか。

【問い合わせ】  
防災安全課

☎7167-1115

FAX 7163-2188

## 在宅避難の必要性

在宅避難とは、大規模な自然災害などが発生した時に避難所へ避難せず自宅での避難生活を送る方法で、プライバシーを制限されず住み慣れた家で過ごせることがメリットです。

一方、避難所は、自宅の倒壊や火災等で大きな被害を受け、自宅に住めなくなってしまうかたのために一時的に開設される生活場所です。そのため、慣れない環境でストレスを感じるかたもいるかと思えます。市でも避難されたかたのストレスをできる限り軽減し、少しでも安心して過ごせるよう、よりよい環境づくりに努めています。不特定多数のかたが一つの空間で生活するため、新型コロナウイルスなどへの感染リスクも高まります。また、過去の震災では、残念ながら窃盗などが起きた事例もありました。

在宅避難では、このようなリスク

を減らし、慣れた環境で避難生活を送ることができます。

しかし、どんな状況でも家にいれいざというときに、在宅避難できる状況か、きちんと判断しましょう。

## 在宅避難を選ぶ4つの判断基準

- ① 自宅の破損が少ない
- ② 余震等が起きても倒壊の恐れがない
- ③ 近隣の火災や浸水・土砂崩れなどの危険性がない
- ④ 自宅に必要な備え・準備ができている

必要な備えとは？ 本誌6～9ページをチェック！



## 在宅避難という選択

震災時、まず避難所へ逃げることを考えるかたも多いのではないのでしょうか。数々の震災を経て、住宅の耐震化も進んでいます。自宅での備えや安全が確保できるのであれば、在宅で避難生活を送ることができます。

地震が起きた時どう避難するのか、在宅避難の選択について考えてみましょう。



# 柏市内でも被害発生 東日本大震災

平成23年3月11日、強烈な揺れとすさまじい威力の津波が東日本を襲いました。国内観測史上最大のマグニチュード9.0を観測。宮城、岩手、福島、茨城の3県に甚大な被害を与え、死者・行方不明者は2万人を超えました。

震度5強が観測された首都圏でも、交通機関がまひしたため、多くの帰宅困難者が発生しました。

市内でも、地震直後から電話やメール、インターネット等の通信が遮断され、家族の安否を心配する声や市内の被害状況について情報を求める声や市へ多く寄せられました。さらに、その後の電力不足で10日間続いた計

## 阪神・淡路大震災。被災地支援の経験者が語る 何よりも負傷しないことが大切

火事が多かった現場は、まるで戦争が起きたかと思うほど焼け野原となり、帰宅困難者や避難する車であふれていました。ライフレインは停止し、交通渋滞で消防車の移動も困難な状況でした。

人命救助のタイムリミットは72時間といわれています。到着後、すぐに救助を開始し、朝から日没まで必死に救助を続けました。拠点となる消防本部も停電で、救助要請の受信も避難情報の発信もできない中、自ら考え、救助へ臨みました。救助中、助けを求める声がかたを救いたいと強く思い、救助活動を続けていたことを覚えて

います。

柏市で大地震が起きたとき、消防隊は助けたくても救助に間に合わない可能性もあります。まず、少しでも被害を抑えるために、事前に家具を固定するなど対策をして自宅を安全にしてください。そして、大きな揺れを感じたら、第一に頭を守ってください。災害時、最も大切なことは負傷しないことです。



消防局指揮統制課  
小川幸則さん  
柏市の消防士として阪神・淡路大震災を経験。現在は現場の指揮隊長

### ■ 柏市直下型の大地震が起きた際の被害想定

大項目	小項目	想定被害
大きさ	マグニチュード	7.3
揺れ	主な震度階級	6弱～6強
建物被害	全壊棟数	6,975軒
	半壊棟数	11,811軒
	焼失棟数	4,658軒
ピーク時の避難者数	避難所内	44,017人
	避難所外	66,025人
ライフライン被害	停電率	約92%
	断水率	約65%
	通信障害割合	約91%
	都市ガス機能支障割合	約71%



【ライフラインの復旧にかかる目安】

電力・通信 → **1週間**

上下水道・ガス → **1カ月**

出典：平成30年度柏市防災アセスメント調査



東日本大震災時、シャッターが下りた駅で多くの人が困惑する姿も

画停電は、市民の生活に不安を与えました。また、家具等が倒れたり、屋根瓦が崩れたりする被害による負傷者も多く、スーパーでは水や食料品不足が相次ぎ、在宅での生活に不安を感じた人も多かったのではないのでしょうか。

### もし今、柏市直下型の大地震が起きたら――

柏市にマグニチュード7.3(阪神・淡路大震災と同規模)の地震が起きた場合、ライフラインが1週間～1カ月間停止し、避難者数も10万人を超えるなど、多大な被害が想定されています。自身や家族の命を守るため、備えについて考える時は「今」です。



事務所でもロッカー等が傾き、書類が散乱



# 今から始める住まいの防災

東日本大震災時、水や食料が手に入らず困ったかた、家具などの転倒により負傷したかたもいたのではないのでしょうか。あの時よりも規模の大きい地震が発生したら――。今回は「物」「建物」「コミュニケーション」の3つの分野に着目し、災害時に安心して生活を送るための備えについて考えてみましょう。

## 物 編

### 備蓄の考えをアップグレード！ 普段の買い物にひと工夫

大規模災害が起き、物流機能が停止すると、スーパーやコンビニの店頭などで食品も手に入りにくくなります。普段食べている物を少し多く買い置きするだけで、無理すること

なく、もしもの時に備えることができます。「備蓄」＝「災害時まで保存しておく」だけではなく、皆さんの食生活に合わせて、備蓄の考え方を見直す必要があります。

### 簡単！ローリングストックを実践

普段食べる食品を少し多めに買い置き



ローリング  
ストック

果物や野菜、  
お菓子も  
備蓄に！

消費した分を買い足す

古い物から消費

#### 💡ココがメリット

- 食べ慣れている物や好きな物を非常食にできる
- 保管は買い置きスペースを少し増やすだけ
- 普段食べている物なので賞味期限が切れることなく無駄なく消費できる

### 避難所運営を知る職員に聞く

### 安心して避難生活を送るために準備を

ある災害対応で、避難所の様子を目の当たりにしました。寝る場所や着替える場所、トイレの使用など、自由もプライバシーもなく、とても過酷な状況でした。

在宅避難が可能であれば、避難所よりプライバシーが確保でき、落ち着いて過ごせるので自宅です。安心して避難生活を送れるように普段からの備蓄を心掛けましょう。

柏市で大地震が起きた場合、阪神・淡路大震災のように、建物倒壊や家具の下敷きによる被害が発生しやすい都市型地震になると想定されています。



消防局企画総務課 高城(たかぎ)博さん  
消防士。以前に柏市防災安全課職員として災害対応も担当

す。普段から自宅を片付けたら、家具等を固定したりしておくことが避難経路の確保につながり、身を守る第一歩になります。災害は忘れたころにやってくるといわれますが、それは明日かもしれないかもしれません。いつ災害が起きても慌てずに自分や家族を守れるように必要な備えを今日から始めましょう。





チェック!

## 在宅避難に必要な「物」の備え

### 食料品

- ☑ 水 →1人1日3リットル
- ☑ 主食 (レトルトご飯、乾麺など)、  
主菜 (レトルト食品、冷凍食品)
- ☑ 缶詰
- ☑ 野菜ジュース  
→ミネラル・ビタミンの補給に
- ☑ 魚肉ソーセージ、かまぼこ、  
ナッツ類など  
→調理せずそのまま食べられる
- ☑ 菓子類
- ☑ 調味料 (しょうゆ、塩など)

### 生活用品

- ☑ 充電式のラジオ
- ☑ カセットコンロ・ボンベ  
→ボンベは1人1日1本
- ☑ ろうそく・マッチ・ライター
- ☑ 懐中電灯
- ☑ 乾電池、予備バッテリー
- ☑ 食品包装用ラップ  
→皿などに敷くと洗い物が減る
- ☑ 簡易トイレ →1人1日5個
- ☑ ビニール袋、ポリ袋  
→大きいものは水の運搬にも
- ☑ 常備薬、救急箱
- ☑ 手袋
- ☑ ティッシュペーパー、  
ウェットティッシュ

### 必要に応じて

- ☑ オムツ・ミルク
- ☑ 生理用品
- ☑ ペット用品

### 💡 それでも不足したら

在宅避難中であっても、物資等が不足してしまった場合は、避難所で配られる食糧などを受け取ることができます。また、災害時は被害状況に応じて、順次給水所を開設します。お近くの給水所が開設されているか、給水所へ出向く前に市のホームページでご確認ください。

ライフラインが停止しても慌てないために最低限これだけは備えよう!

台所、風呂、洗面所、トイレなどの水が出ないとしたら——。大地震が発生すると電気・水道・ガスなどが使えなくなる可能性があります。水や食料の備蓄に加え、水を流すこと

ができない時にトイレとして使用する袋(便袋)、明かりの代わりとなるものなど、必要な物は他にもたくさんあります。

## 建物 編

### 家具の固定で けがを防止

家具と壁や柱の間に隙間があると倒れやすくなります。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱に少し寄りかかるように固定しましょう。金具や固定器具を使うとより固定できます。



### 逃げる場所をつくり、 家の中の避難経路を確保

テーブルの下など「落下物から身を守る」ための避難場所を確保しましょう。また、避難経路や入り口付近、寝る・座る場所には家具を置かないようにし、玄関周りには物を置かない工夫をしましょう。

### 耐震診断で安全性をチェック

市では専門家による耐震診断相談会や診断費・改修費の補助を行っています(詳しくは本誌10ページ)。

さらに詳しく!

### 防災情報は 防災ガイドブックで

市では防災ガイドブックを作成し、災害時の備蓄・非常時持ち出し品リストや家具の転倒・落下を防ぐポイントなどを掲載しています。



配布場所/防災安全課(市役所本庁舎2階)、沼南支所(沼南庁舎1階)、近隣センター

## 家族会議で意識を1つに

会議で話し合う3つのポイント

① 備蓄品・非常時持ち出し品等の準備・点検

備蓄品等の保管場所を共有し、定期的に保存状態や賞味期限切れなどを点検する

② 家の危険な場所を確認

家の中の危険な場所、安全な場所を話し合い、対策を考える

③ 家族との連絡方法の確認

家族が離れ離れになったときの連絡方法や集合場所を確認。安否確認のため、伝言を登録できる災害用伝言ダイヤル「171」の使い方も確認。

楽しみながらできる!

## おうちキャンプで防災対策

部屋の中でテントを張って寝たり、キャンプ料理を味わったりする「おうちキャンプ」。備え付けの電気・ガスをできるだけ使わないで過ごしてみると、キャンプ気分を楽しみながら在宅避難のシミュレーションができます。



## 情報は自ら入手! 入手方法を確保しよう

災害時は通常の通信手段が機能しなくなる恐れがあるため、複数の情報入手方法を確保しておくことが重要です。インターネットやSNSは不確かな情報も流れている可能性があるため、信頼できる情報発信元を確認しておきましょう。



## 市の情報はこちらから

■ 柏市オフィシャルホームページ

避難所の開設や災害情報、断水などの情報は、市のホームページのトップに「緊急情報」として掲載します。



■ Yahoo! 防災速報アプリ

緊急地震速報や避難情報などをいち早く確認できます。



■ 柏市公式 LINE アカウント



■ 柏市防災安全課 公式エックス (旧ツイッター)



## インターネットが使えないかたはこちら

■ 防災行政無線

市内全域に避難情報などをお知らせしています。内容が聞き取れなかった場合は、確認用番号（☎0120-280-131）で同様の内容を確認できます。

■ テレビ、ラジオ

## 注意! 在宅避難ができないとき

### 命を守るための避難行動を

在宅避難ができないときは「自分の命は自分で守る」という意識を持ち、適切な避難行動をとりましょう。

① 命の危険がある場合は安全な避難先へ避難を

市が設置している避難所や、親戚・知人宅など、安全な避難先を確認しておくことが大切です。

② 非常時持ち出し品を事前に準備

避難する時に持ち出す「非常時持ち出し品」をリュックサックなどにまとめて準備しておきましょう。

③ 最新の避難情報を随時確認

市が指定する避難場所、避難所は変更・増設されている可能性があります。災害時には最新情報を小まめに確認しましょう。



避難所一覧

NEW!

### 避難所にペットの屋内避難スペースを確保



市では、ペットガイドラインを作成し市内中学校、近隣センターなどの避難所にペットの屋内避難スペースの確保を進めています。「ペットがいるから避難できない」ではなく、自分自身の命を守るため「ペットと共に避難」という選択を



## 市内外で防災活動をする防災士が語る

# 助けられる人がいたら 肩を貸してあげられる、 そんな街になれば

### 事前に話し合い、 地域に合わせた訓練を

東日本大震災の時、柏市は建物倒壊等の被害は少ないものの、常磐道を通って主に福島県から避難してきたかたの受け入れ対応を行って来ました。避難所では、想定外の受け入れに対応を模索しながら支援を行ったことを今でも覚えています。

避難所は全て行政が運営するものと思われがちですが、実際は違います。大災害時に行政が各地の災害対応に追われるなか、避難所を開設して避難者を受け入れるには、地域住民の協力なくしては実現しません。いつ地震が起きるか分からないなか、災害時にどう地域で協力すべきか、事前に話し合う必要性を強く感じました。

地域によって特徴も異なる



危険な状況を想定したカードゲームで楽しく訓練

### 知識や経験を地域に

るので、地域に合った災害対応を考えなくてはなりません。そのため、立地や要支援者がどこに住んでいるかなど、事前に情報を共有しておくことや災害に即した訓練を行うことが大切です。

私は、知識やこれまで経験したことを町会などの地域のかたに伝え、地域の防災力の底上げを目的に活動しています。こうした活動を行っているのは、自分と家族が安全に過ごせる街であってほしいからです。私たちの知識や経験したことが地域に伝わり、災害時に行動できる人が増えていけば、きっと柏は災害に強い街になります。困った時にお互いに助け合えるそんな街であってほしいと思います。



行政や地域を支援する  
防災士  
松清智洋さん

## 全市民対象 地域参加型の総合防災訓練を開催

関東大震災から100年の節目に、多くの関係機関と共に、柏市直下を震源とする地震で甚大な被害が発生していることを想定した総合防災訓練を行います。いざという時に落ち着いて行動できるよう、訓練に参加してみませんか。

時 9月30日(土)午前10時～午後1時 ㊦ 柏の葉中学校

㊧ どなたでも

㊨ シェイクアウト訓練、避難訓練、防災関連の各種展示・体験

㊩ 当日、会場へ直接



市ホームページ

### シェイクアウト訓練とは

地震発生後、およそ1分間に取りべき3つの安全行動を実践する訓練。



## 準備しておくペット用品

- ☑ ペットフード・飲料水 (最低5日分)
- ☑ 食器
- ☑ キャリーケースかケージ
- ☑ 首輪・リード
- ☑ トイレ用品 (ペットシート・オムツなど)
- ☑ 排せつ物の処理用具
- ☑ ペットの健康手帳
- ☑ 常備薬
- ☑ ペットのプリント写真
- ☑ その他 (タオル、ブラシ、使い慣れたおもちゃ)



市ホームページ

考えましょう。

### 【対象のペット】

家庭で飼育している、犬や猫、ハムスターや小鳥などの小型の哺乳類と鳥類

### 【飼い主へのお願ひ】

避難所には、動物が苦手な方や、アレルギーを持つかたも避難されます。避難したかたが少しでも安心して過ごすために、日ごろからペットの基本的なしつけや健康管理などを行いましょ。詳しくは市のホームページをご確認ください。





命を守るために今見直しを



# 9月1日は防災の日

地震や竜巻、台風などの災害はいつ起こるか分かりません。災害から自身や大切な家族、自宅を守るためにも、食料などの備蓄だけでなく建物や設備の状態をいま一度確認しましょう。

## 感震ブレーカー設置費用等の一部を補助

地震などの災害による停電後の電気復旧の際に、損傷した電気コード等から出火し火災が発生する恐れがあります。市では、地震発生時に設定値以上の揺れを感知した際に、自動でブレーカーを落とし、通電火災を防ぐ感震ブレーカーの設置費用等の一部を補助しています。

☑市内在住で一戸建て住宅を所有しているかた

### 【補助機器】

簡易タイプの感震ブレーカー※日本消防設備安全センターで認証済みのもの

### 【補助金額】

購入設置費用の3分の2※上限3,000円

【申請期限】 12月28日(木)

☑火災予防課(消防局3階)、消防署・分署で配布する申請書に必要な事項を書き、必要書類を添えて、〒277-0827松葉町7丁目16-7 柏市消防局火災予防課へ郵送(当日消印有効)か直接持参を※予算に達した時点で受け付け終了。申請書は市のホームページからダウンロード可

### 【問い合わせ】

火災予防課☎7133-8792・FAX7133-0109



市ホームページ



## 8月30日～9月5日は建築物防災週間

建物や塀などの老朽化や維持管理の不備を放置すると、思わぬ事故につながります。この機会に建物や塀などの状態を点検し、適切な維持・保全に努めましょう。

### 【問い合わせ】

建築指導課

☎7167-1145・FAX7167-7668

## ブロック塀の安全点検をしましょう

地震や台風などの災害時にブロック塀が倒壊し、命に関わる大きな被害につながる場合があります。この機会に、所有するブロック塀の状態を確認しませんか。次の点検のポイントに当てはまらないものが1つでもある場合は、倒壊の恐れがあるため、撤去等の検討をお願いします。



### ブロック塀の点検のポイント

- ☑塀の高さは地盤から2.2メートル以下か
- ☑塀の厚さは10センチメートル以上あるか(塀の高さが2メートルを超え2.2メートル以下の場合15センチメートル以上)
- ☑塀の高さが1.2メートルを超える場合、塀の長さ3.4メートル以下ごとに、塀の高さの5分の1以上突き出た控え壁があるか
- ☑コンクリートの基礎があるか
- ☑塀に傾きやひび割れはないか
- ☑塀に鉄筋が入っているか



市ホームページ

## 木造住宅の耐震診断相談会の開催

法改正により、平成12年5月以前に建てられた木造住宅は、大地震の際に倒壊する恐れがあるとされています。市では、このような木造住宅を対象として、建築士から簡易的な耐震診断を無料で受けられる相談会を開催します。

☑9月24日(日)午前10時～午後4時

☑市役所分庁舎2

☑平成12年5月31日以前に建築された木造住宅(在来工法)を所有し、平成12年6月1日以降に増築していないかた、先着10人

☑住宅の設計図面、写真などの資料

☑9月4日(月)午前9時～9月8日(金)午後5時に、建築指導課へ電話で



市ホームページ

## ブロック塀等の除却費用・木造住宅の耐震に関する補助

市では、危険なブロック塀等の除却費用や、木造住宅の耐震診断費・改修費に対して、補助を行っています。対象条件や補助金額など、詳しくは市のホームページを見るかお問い合わせください。



市ホームページ